

記者発表資料

平成21年10月14日

財団法人横浜企業経営支援財団

事務局長 吉田 正博 TEL:225-3705

財団法人横浜企業経営支援財団

IDEC発シルバーベンチャー第1号誕生！

産学連携で生まれた「先端技術情報提供の新しい企業創出」

(財)横浜企業経営支援財団(理事長 清水利光) IDEC は、横浜市内企業の経営を支援する唯一の公的支援機関として、総合的・継続的な支援体制による事業を積極的に展開しており、昨年度からは経営支援体制の充実・強化を図るため、金融機関(3大メガを含む6金融機関)や関係機関と戦略的業務提携を締結しています。また、IDECは市内理工系9大学とのネットワークの他に市内企業と全国の大学の知を結びつける全国産学広域ネットワークを構築しつつあります。これまで、市外大学(東海大学)、県外大学(早稲田大学、同志社大学、関西大学、関西学院大学、山口大学、高知大学、立命館大学、広島大学、鹿児島大学、岩手大学、金沢大学)海外大学(タイ:モンクット王ラカバン工科大学)＝計13校と産学連携協定を締結してまいりました。

本日、IDECの進める産学連携からシルバーベンチャー第1号が誕生しました。

IDECは8月26日から産学連携による「先端技術情報研究会」を設置し、最先端技術に関する情報を産学双方へ提供するビジネスモデルを検討してきました。

研究メンバーには「学」として東京都市大学(大谷紀子環境情報学部准教授)、山口大学(江頭港大学院理工学研究科教授)、東海大学(樋口昌史工学部応用化学科専任准教授)、「産」としてオートモーティブエナジーサプライ、エネルギー会社が参加して、情報収集や提供の方法を検討し、この度、大学、公的機関の研究開発技術情報を提供する新たな企業を創設することになりました。

企業名	株式会社先端技術情報総合研究所
代表者	藤原 信浩 (63歳)
所在地	横浜市中区太田町2-23 横浜メディアビジネスセンター6F IDEC内
業務内容	先端技術情報の提供、技術調査、コンサルティングなど
資本金	550万円

シルバーベンチャー創設には、IDECで産学連携の仲介を担うリエゾンプロデューサーが主体となり、新会社の代表者として、これまでの豊富な技術や知識、経験を生かし、新規ビジネスの振興を図ります。

IDECは今後も、定年後等の雇用創出と人材の持つ付加価値の活用に「シルバーベンチャー」創設を支援することで積極的に促進していきます。

IDECの支援内容

- ・ 経験・知識が豊富なシルバーが有する能力を生かした新規事業開拓分野進出を、大学、産業を結びつける産学連携の一環として研究会立ち上げからサポートし創業までつなげる。
- ・ 会社設立に向けた経営支援及び会社設立後のサポートをIDECとして継続して行う。
- ・ 新会社はIDEC発シルバーベンチャーとしてPR等を行う(IDECホームページ、広報など)
- ・ 新会社の事務所はIDECオフィス内に設置し、ビジネスをスムーズに行うサポート体制を築く。

※裏面ご参照

株式会社先端技術情報総合研究所

【企業理念】

- 1 横浜企業経営支援財団の支援による、産学連携のメリットである、大学など専門家の研究者による技術開発情報などの提供による社会貢献。
- 2 新規起業の創業時には、実績のある事業活動に特化し、スムーズな立ち上げを狙う。
- 3 技術情報を世界に提供することにより、産業の発展に貢献する。
- 4 産－学－学の連携で新規ビジネスの貢献に寄与する。

【戦略】

- ・ 産－学－学の連携を柱とする事業を主体とする
- ・ 具体的には、東京都市大学、山口大学などと連携
- ・ 大学、公的機関の研究開発技術情報を世界に提供
- ・ 技術情報の執筆者は、大学などの研究開発者など専門家
- ・ 大学などの研究開発技術情報をかみ砕き、産業に役立つ情報の提供
- ・ 新規事業ながら、実績のある事業に特化し、スムーズな事業立ち上げで、小さく産んで、大きく育てる事業に特化

【業務内容】

- ・ 時代のリーディングエッジの産業分野参入などに必要な研究開発技術情報の提供
- ・ 当面はリチウムイオン電池関係など先端技術分野に特化
- ・ 情報など発信によるマスコミへのPR活動
- ・ 電池関連、リーディングエッジ技術などのコンサルティング
- ・ 技術調査受託
- ・ M&A斡旋
- ・ エンジニアなどの専門家業務斡旋